スポーツ推進委員は こんな活動をしています







(上) 軽スポーツ体験教室の開催 (中) 地域の イベントとコラボして軽スポーツの体験や紹介な ど (下) マラソン大会の記録証発行などの運営

▼ 年 1 回発行の広報紙 「SS HOTニュース」 各公民館などに配布しています



施など自主活 が身近にスポ 市全体で誰も 動も増えて、 た。教室の実 うになりまし る土壌ができ ーツを楽しめ

5-2 718.15 なたは最近、いつスポーツをしましたか。 もいれば、運動が苦手、きっかけがないなど、 と距離がある方も多いのではないでしょうか。 くの方にスポーツを楽しんでもらおうと活動する 「スポーツ推進委員」のがんばる姿や思いを追いました。

~70代までと幅広く、ほとんどの方100人以上が活動。年齢層は30代地進委員に推薦され、市内全体でめ、各公民館などから4人程度がめ、

うか。

ツ推進委員は、

マラソ

はなくても、その活動を目にしたこ

「スポーツ推進委員」。聞いたこと

とのある方はいるのではないでしょ

まちを支えるスポーツ推進委員

でのスポー

ンや駅伝大会などの運営や、

ツ教室開催などを行って、会などの運営や、各地域

て、体への負担も少す・、野球などの一般的なスポーツと比べ野球などの一般的なスポーツと比べ

特に力を入れているのが軽スポー

誰でも簡単にスポーツを

が仕事をしながら活動しています

が分かりやすい」「お年寄りから子初めて挑戦する方からは「ルール

めるのが特徴です。

老若男女問わず誰でも楽し

体的な活動をしていこうと、組織を真に名称が変わり、当市でもより主本法の改正に伴い、スポーツ推進委本法の改正に伴い、スポーツ推進委 改めました。 で、組織としてのまとまりもなかっ受けたイベントの手伝いが主な役割

を入れています。 会への参加、広報紙発行などにも力 ぞれが独自に企画して、 も活動を広げるため、研修会や講演 の教室などを開いています。 ング大会。ほかは各地域で委員それ 象とした軽スポー 全員が関わるのは、 ーツ教室とウォ 教室とウォーキー 軽スポー

経験や意欲のある皆さんが一体化し、 組織が改編したことで、スポーツ 地域を越えて 人やアイデア

が行き交うよ

評。「まずは体を動かす楽しさを知どもまでみんなで楽しめる」と大好 ていたころは、行政などから依頼をかつて「体育指導委員」と呼ばれ 親しみのない方でも遊び感覚で始め ていない」など、スポーツにあまり が苦手」「興味はあるけど取り組め ポーツ推進委員は話します。「運動 ってもらいたい」と、教室を開くス 身近に楽しめるような場を られるのが良いところです。

2019.11 広報さいじょう 02 03 広報さいじょう 2019.11

·浦·歩SS ウォーキング大会 丹原コース

11月10日日 受付8時30分~

丹原総合公園多目的広場



丹原地区の自然や施設に触れながら歩 くことができる約6.7キロメートル

▶申込方法

申込先にある申込書 (コピー可) に記 入して郵送、ファクスなどで提出。

- ▶申込期限 11月7日(株)
- ▶申込書設置場所・申込先
- ○〒793-8601 西条市明屋敷164 西条市スポーツ推進委員協議会事務局 (スポーツ健康課内)

TEL0897-52-1255 FAX0897-52-1386

○各総合支所総務課 ○各公民館



情報は

平成25年からスタ

人が参加する

「穂・浦

ベントがもうすぐ開催されツ推進委員が全員で取り組

スポーツ推進委員(丹原) ふきさ 曽我富貴子さん

永井さつきさん

している方も増えています

た」などの声もあり、 歩きやすかった。 参加者からは

教室などのイベント情報や、そ

の意気込みを教えて にしたい」と当日へ でもらえるイベント 備し、参加者に喜ん さんは「念入りに準 準備も大詰め。永井 今は開催に向けて

のほかの軽スポーツの紹介は市 ホームページに掲載し ています。



用マットで、白と黒のボー ルを打って、五目並べを行



目標球(黄色)に向かって ボールを投げ合って、相手 より近付けることで得点を



地域の良いところを楽しみながら歩 本谷公園の紅葉を楽しむコースなど、 透き通った水路やお堀を歩くコース、

い」と瀬良さん。過去には、

キングなら誰でも取り組

いてもらえるよう工夫してきました

「ちょうどい

4人1組で大きなボールを コートの中に落とさないよ うに、ヒットやレシーブを



コートの反対側の得点圏に でディスク(円盤)を押し 出して得点を競います。

主な軽スポーツを紹介

誰でも簡単に

ウォーキング大会自分たちで創る







1. 「こうすればできるよ」とコツを教え ます 2.イベントに向けての打ち合わせ 3. 「こんなルールです」と実技を踏まえ ながら説明 4.常に笑顔で一緒に楽しみ ます 5.参加者に寄り添い丁寧に指導

スポーツを楽しむ きっかけをつくる



スポーツ推進委員(壬生川) **瀬良和彦**さん

ん。「特にスポーツと距離がある人 て思ってもらえるように」と永井さ

なってみてスポーツ推進委員に さん。とりあえず決まっ

と瀬良さん。 もともと好きだったこと というよりかは参加者と すごく楽しいね。 では自主的な活動もして 目標に始めましたが、 一緒にしよる感じやね」 います。「教室の実施は すぐになじめた

ーツが

力や体力がなくて運動が苦手な方や、障がいがある方でも楽しめるのや、障がいがある方でも楽しめるのが軽スポーツ。2人とも「僕たちの役目はスポーツ。2人とも「僕たちのでもけんなってくる。子どもからおん歩けんなってくる。子どもからおちなけんなってくる。子どもからおおなくなるようなお手伝いをしていがなくなるようなお手伝いをしているかなくなるようなお手伝いをしているようなお手伝いをしかったっ

同じく副会長の永井薫

体を動かす楽しさを伝える

ツを楽しんでもらう」という意

数多くの活動を通して「ス



教える



スポーツ推進委員 (丹原) **永井 薫**さん

2019.11 広報さいじょう 04

05 広報さいじょう 2019.11



スポーツ推進委員 (神戸) **徳増美恵子**さん

みんなの笑顔が集まる場所を

んでいる徳増さん。「みんながコミ活動は大変ながらも、とても楽し



(右) 子どもも大人も一緒にできるため、教室には親子で参加する方も多くいます (左) 慣れてくると、大会形式に。参加者に楽しんでもらえるよう工夫しています

だからスポーツ を教える

動に取り組んでいます。知ってもらいたい」と活 多くのつながりができた 増えた」。活動を通して 動かす楽しさをみんなに が少なくなるよう、 代」と話すのは徳増美恵 「地域の中でのコミュ ションがすごく

つするん?』と活動を楽しみにしてつながりが増えたりした。『次はい加者同士で仲良くなったり、私自身室などに参加してもらうことで、参 そうです。「同じ神戸地区でも知ら

楽しんでくれる誰かのために

じて『私でも楽しめる』といった新えているからこそ、軽スポーツを通 っています。「運動が苦手な子が増 10年前から小松小学校での授業も行 しい発見をしてもらいたい」。各学年 校長先生の依頼で、 ツ推進委員を続けています。 ーツを楽

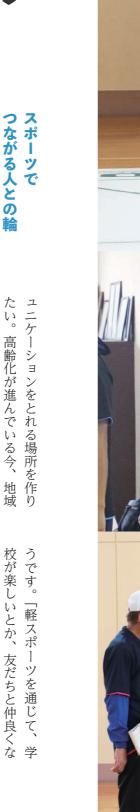
ができる。ライフスァ・・ケー友達も増えて、私もみんなも居場所友達も増えて、私もみんなも居場所 そしたら『元気なったわ』って、を出す場にしてもらえたらうれし を出す場にしてもらえたらうれしい。ツをする場所を作って、みんなが顔 で隣近所に誰がおるのかをみんなで 集会所とか身近な場所でスポー

り、そして体を動かすのが好きでス での活動も盛んに行っている曽我部



スポーツ推進委員 (小松) **曽我部公代**さん

ます。「通常の体育の授業と違ってう強い思いが曽我部さんにはありかす楽しさを知ってもらいたいとい いるんだ、もっとがんばろうって思を聴いて、自分も少しは力になれてた』っていう講演までしてね。それ 域で育ててもらい、子どもも成長しをもらって。そのお父さんも、『地『楽しかった。またしたい』って声 ったんよね」。いろんな方に体を動 たら参加してくれて、その子 心して!』って誘ったんよね。 いたけど、『私がおるけん、安初めは親が外に出すのを嫌が かけになると ほし から





2019.11 広報さいじょう 06

スポーツを通して 身近な存在に

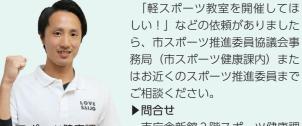
まだまだこれから



ツ推進委員を知って

西条市スポーツ推進委員協議会 会長 **杉森惠夫**さん

気軽にご相談ください! 「軽スポーツ教室を開催してほ



市庁舎新館2階スポーツ健康課 TEL0897-52-1255







1.親子で協力してボールを必死に追い かけます(ラケットテニス) 2.残り して投球! (ペタンク) 4.狙ったと ころに飛んでいけー(輪投げ) 5.友 達と一緒に楽しみました(シャフルボ 一片)

※ () は軽スポーツの名称







軽スポーツって楽しい! 軽スポーツを体験した方に感想を聞きました。





小松小学校 越智心々さん



スポーツはしんどいイメージが強く、一生懸命が んばるものだと思っていました。しかし小学校の授 業の中で、スポーツ推進委員の皆さんにたくさんの 種類の軽スポーツを教えてもらい「運動を楽しむ」 ことの大切さを学びました。軽スポーツをすると明 るい気分になって、体を動かすことが楽しくなりま した。また機会があれば、ぜひやってみたいです。





古川 泉さん(右)・泰士さん

子どもから大人までみんなで楽しめる!

地元の委員さんからの誘いがきっかけで、息子と 一緒に軽スポーツ教室に参加しました。教室には、 子どもから大人までたくさんの方がいました。軽ス ポーツの良いところは、高度な技術が不要で、老若 男女問わず、誰でもできること。慣れてくると私も 息子も夢中になり、笑ったり、時には悔しがったり など、すごく楽しめました。

